



法情報の入手方法

—どこにどのような資料があるのか—

	冊子体 (一例)	データベース(★は学内限定)
文献 ... 法律の制定趣旨や解釈、判例についての解釈や考え方、事件の背後にあった社会的事実などを、さまざまな書き手から知ることが出来る。		
図書・雑誌	特定テーマの研究書、〇〇法の概説書・体系書、教科書 コンメンタール(法律を一条文ごとに解説) 法律用語集、法律学事典 2階参考図書コーナー 統計、白書(事実をデータから知る) 2階参考図書コーナー	<図書・雑誌の横断検索> 『D1-Law(法律判例文献情報)』★ 『法律文献総合 INDEX』(TKC)★ 『CiNii Books』 『国立国会図書館サーチ』 <雑誌記事・論文> 『法律時報』『法学紀要データベース』★ 『NDL-OPAC(雑誌記事索引)』『CiNii Articles』 『J-STAGE』 <白書> 『電子政府の統計窓口 e-Gov』、各地方自治体のホームページ
論文	『ジュリスト』『法律時報』『法学教室』『法学セミナー』 2階雑誌コーナー、サイバー、雑誌館 大学紀要(例)『甲南法学』 雑誌館 学会誌(例)『私法』	
新聞記事 話題となった事件の殆どが判決当日に掲載される。抜粋や要旨だが、要点がわかる。	原紙 1階新聞コーナー、当日以外2年分はカウンターへ(当月1階、それ以降2階) 縮刷版 2階カウンター前、雑誌館	『日経テレコン 21』★ 『ヨミダス歴史館』★ 『聞蔵Ⅱ』★
判例 ... 裁判所が法的判断をする際に参考とする、過去の裁判所の判断。法令をどのように解釈し、適用しているか。		
判例集	『最高裁判所判例集(民事・刑事)』 2階雑誌コーナー、雑誌館	『裁判例情報』(裁判所 Web サイト内) 『公的判例集データベース』★
判例雑誌	『判例時報』『判例タイムズ』 2階雑誌コーナー、サイバー、雑誌館	
判例データベース・Web		『LEX/DB インターネット』★
判例評釈・解説	『判例百選』シリーズ(別冊ジュリスト) 『〇〇年度重要判例解説』(ジュリスト臨時増刊) 2階雑誌コーナー、サイバー、雑誌館 大学紀要、学会誌	『法律文献総合 INDEX』(TKC)★ 『D1-Law(法律判例文献情報)』★ 『CiNii Articles』 『NDL-OPAC(雑誌記事索引)』
法令		
官報 法令全書 国の機関が定めた法令を公布・公告するために発行する新聞 『官報』から交付法令を抜粋し、交付年月日順に法の形式別に編集	『官報』(新聞) 2階カウンター(2年分) 『法令全書』(月刊) 雑誌館	『インターネット版「官報」』
六法	『六法全書』(年刊) 2階参考図書コーナー 『ポケット六法』 『判例六法』	
差し替え式法令集 現在有効な全法令を体系的に編集	『現行日本法規』 『現行法規総覧』 2階カウンター前	『Super 法令 Web』★ 改正履歴も検索できる 『D1-Law(現行法規)』★
法令データベース・Web キーワードから法令を探す		『法令データ提供システム』(総務省) 施行済みの法令のみが検索対象 『日本法令索引』(国立国会図書館※) 現行法令、廃止法令、制定法令、法律案、条約承認案件を検索できる
国会議事録 「法令」がどのような趣旨で作られ、国会で議論されたか		『国会議事録検索システム』(国立国会図書館※)

<法情報の調べ方案内(参考資料)>

- 【本】 ・いしかわまりこ・藤井康子・村井のり子『リーガル・リサーチ』第4版 日本評論社 2012
・吉田利宏・いしかわまりこ『法令読解心得帖』日本評論社 2009
- 【Web】 ・国立国会図書館「リサーチナビ」<http://rnavi.ndl.go.jp/rnavi/>
・いしかわまりこ「法情報資料室☆やさしい法律の調べ方☆」<http://www007.upp.so-net.ne.jp/shirabekata/>

※国立国会図書館とは・・・

日本の立法府である国会に属し、国会の立法行為を補佐することを第一義とする議会図書館であり、国内唯一の国立図書館である。納本制度に基づき、日本国内で刊行される出版物を網羅的に収集・保存し、国会(国会議員、国会関係者)、行政及び司法の各部門(政府各省庁及び最高裁判所)、国民(一般利用者、公立その他の図書館、地方議会等)に対してサービスを行っている。東京本館、関西館、国際子ども図書館の三つの施設がある。